

CITY OF YOKOHAMA

脱炭素・GREEN×EXPO推進・
みどり環境・資源循環委員会
令和7年9月18日
脱炭素・GREEN×EXPO推進局

GREEN×EXPO 2027 の開催に向けた 取組状況について

項目

- 1 機運醸成の取組等について
- 2 会場計画の検討状況等について

項目

- 1 機運醸成の取組等について
- 2 会場計画の検討状況等について

1(1) 「Blooming RING Action」の展開

5月16日に発表された「Blooming RING Action」について、「Blooming Ring」の区役所を通じた地域関係者への配布や、市内の大規模イベント等における配布、SNS等での発信により、市内全域で応援の輪を広げる取組を実施しています。



Blooming Ring Action参加者

地域の取組

1(2)公式ライセンス商品の展開

GREEN×EXPO 2027のオフィシャルストアとして3店舗目となる「EXPO 2027オフィシャルストア 丸善 横浜みなとみらい店」が8月7日にオープンしました。

また、8月20日に「EXPO 2027オフィシャルオンラインストア」がオープンし、公式ライセンス商品が日本全国で購入可能になりました。

順次新商品を投入し、認知拡大を図っていきます。



丸善 みなとみらい店の様子



(左)ぬいぐるみキーホルダー (右)クッション

1(3) 特別仕様ナンバープレートの展開

7月14日に市庁舎にて、GREEN×EXPO 2027 特別仕様ナンバープレート交付記念セレモニーを開催しました。区役所等に配備されている次世代自動車等（EV、PHV、FCV、HV）をはじめとする公用車について、順次取り付けを実施しています。

また、横浜市で初となるご当地ナンバープレートとして、GREEN×EXPO仕様の原動機付自転車のナンバープレートの導入も検討しています。



7/14 交付記念セレモニーを様子



資源循環局 濱谷事務所

1(4) 大規模イベント等におけるPR

7月に「横浜七夕祭り」や「サマーコンファレンス」のイベントブースをはじめ、みなとみらい地区において熱気球搭乗会が実施され、来場者の皆さんに対して新たな手法でGREEN×EXPOのPRを実施しました。

また、8月には「TICAD9（第9回アフリカ開発会議）」において、国内外の皆様に次は横浜で万博が開催されることをPRし、GREEN×EXPOの公式マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」が登場しました。



気球への広告掲出の様子



(左) 公式マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」

1(5) 大阪・関西万博と連携したGREEN×EXPO 2027のPR



大阪・関西万博の会場において、「次の万博は、横浜で」をキャッチフレーズに、
GREEN×EXPOのポスター・動画、トゥンクトゥンクを活用したプロモーションを行っている
ほか、ギャラリーEASTにおいて、農林水産省・国土交通省と協会が連携し、GREEN×EXPO の
紹介や日本を代表する花き文化であるいけばな、盆栽等の作品展示を行います。

■主なPR展示

- ・東ゲート広場近くに、トゥンクトゥンクのモニュメント設置（8月下旬～）
- ・EXPOアリーナのスクリーンにおいて、1日数回程度PR動画を放映
(日英二か国語)
- ・万博会場に隣接する冷蔵倉庫の壁面を使った、
プロジェクションマッピングに参加



会場内に設置されたトゥンクトゥンク

■主なイベント連携

- ・9月23日～27日、「ギャラリーEAST」において、
国土交通省・農林水産省と協会が連携し、
GREEN×EXPO 2027の紹介や日本を代表する花き文化である
いけばな、盆栽等の作品を展示



壁面を使ったプロジェクションマッピング

1(6) 開催500日前における取組

大阪・関西万博の閉幕後は、その盛り上がりの機運を逃さず、GREEN×EXPOの機運醸成につなげるため、開催500日前となる11月4日の前後に、記者発表会や市内・首都圏への集中的なプロモーションを展開します。

さらに、11月中旬に大学生をメインターゲットとした、シンポジウムを実施します。



開催2年前記者発表会の様子



開催2年前のシティドレッシングの様子@馬車道駅

項目

- 1 機運醸成の取組等について
- 2 会場計画の検討状況等について

2(1) 出展状況

GREEN×EXPO 2027の会場空間を共創するパートナーは、「Village出展」、「花・緑出展」、「テーマ営業出店」をあわせて377件となり、多くの出展者の皆様と一緒に魅力あふれる会場空間を準備しています。

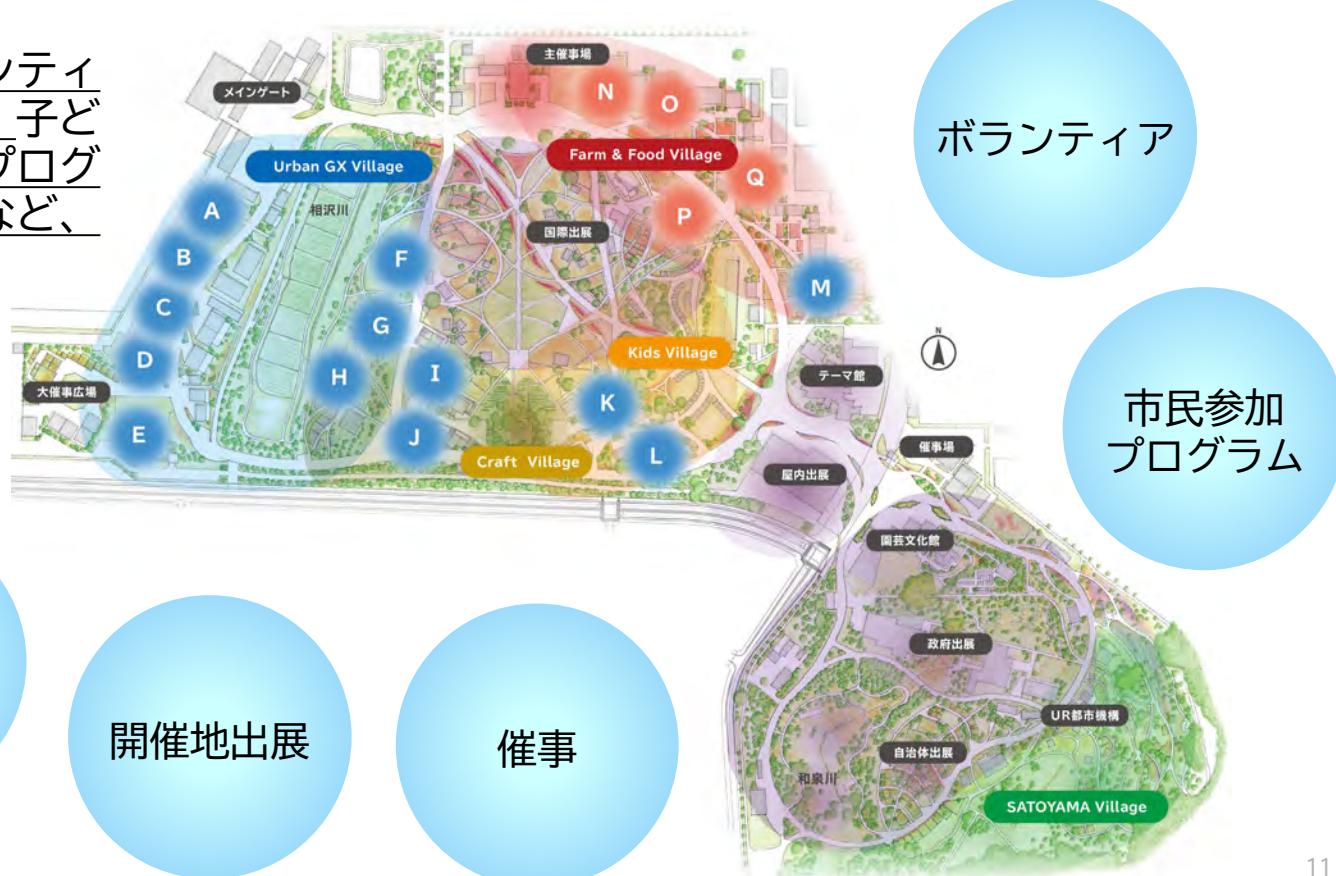


Village出展

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| A 東急グループ | H 東邦レオ 株式会社 |
| B 株式会社 K T グループ | I 竹中グループ |
| C NTT東日本 株式会社 | J 住友林業 株式会社 |
| D 株式会社 大林組 | K 相鉄ホールディングス 株式会社 |
| E 三菱国際園芸博覧会
総合委員会 | L 清水建設 株式会社 |
| F 鹿島建設 株式会社 | M 三光ソフランホールディングス
株式会社 |
| G 大和ハウス工業 株式会社 | |

2(2) 本市の関わり

本市においては、ボランティアや市民参加プログラム、子どもたちを対象とした教育プログラム、開催地出展、催事など、それぞれ具体的な検討を進めています。



2(3) 開催地出展

ア 候補位置

① 建物空間を活用した発信拠点

Urban GX Village

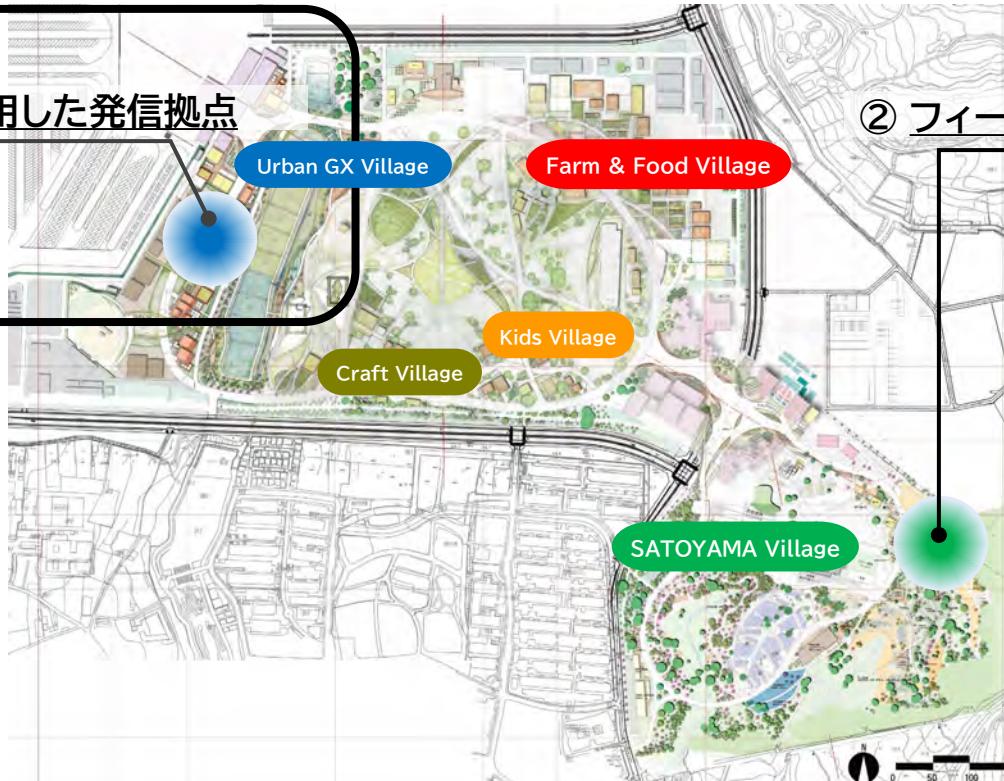
Farm & Food Village

Craft Village

Kids Village

SATOYAMA Village

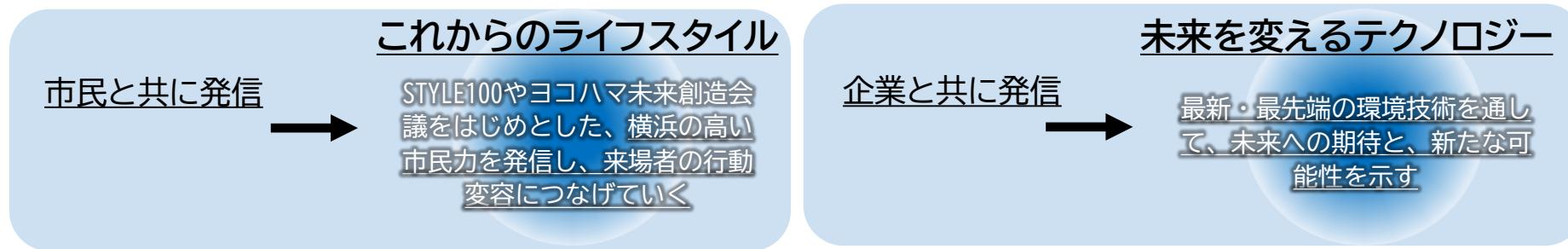
② フィールドを活用した活動拠点



2(3) 開催地出展

イ 発信拠点の考え方

未来に向けて、挑戦する市民・企業の皆さんと共に拠点から世界に向けて発信します



会期前後や会場外でも市民・企業の皆さんとの関わりをつくり、
横浜らしい特別な出展を目指します

会期前

共に創る

多くの市民・企業の皆さんと共に
に市の出展をつくり上げます

会期中

まちに開く

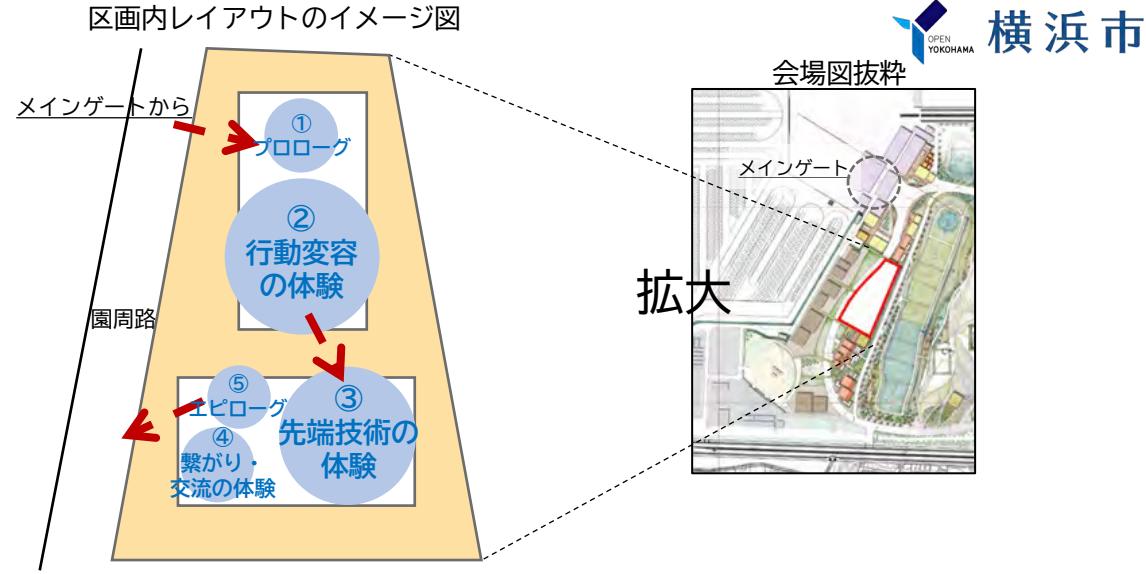
会場内外の場所や取組とつながり、
まちに開いた拠点を目指します

会期後

共に繋がる

市民・企業の皆さんが共に繋がるレガ
シーを生む体験や感動を目指します

2(3) 開催地出展 ウ 発信拠点の全体像



2(4) 各国の参加表明状況

「TICAD9」において、総理大臣・横浜市長共催歓迎セレブーション、セミナー等でのPRに加え、招請活動、現地視察を実施しました。また、期間中に4か国と公式参加契約の調印が行われました。

9月16日時点で約60の国・国際機関から参加表明をいただいており、契約調印国数は7か国となっています。



TICAD9に出席中のアフリカ参加表明国の代表者等



調印式（モザンビーク共和国）



ケニア共和国現地視察